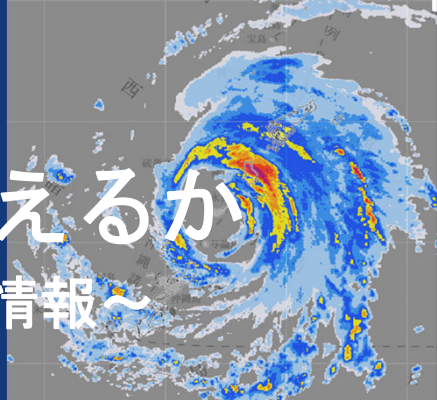


【2026年度気象講演会】

激甚化する大雨にどう備えるか

～予測の最前線と新たな防災気象情報～



線状降水帯の予測や将来変化の最新の知見とは？ 新たな防災気象情報を、命を守る行動につなげるために

近年、記録的な大雨による災害が全国各地で発生しています。

本講演では、最新の気象予測技術や線状降水帯の予測、
防災気象情報の活用方法について分かりやすく説明します。

講演Ⅰ

気候変動下における極端降雨の変化

講師：平賀 優介 氏

（東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 助教）



講演Ⅱ

大雨災害から身を守るために ～新たな防災気象情報の概要と活用～

講師：阿部 真治 氏

（仙台管区气象台 気象防災部 次長）



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

日時：令和8年11月28日（土）14時～16時 開場13時30分

会場：東北大学 理学研究科合同C棟 [H-04] （2階）

青葉サイエンスホール

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-3

※アクセス方法は裏面に記載

- ・参加費無料
- ・要事前申し込み
- ・先着80名（※定員になり次第締め切ります）

申し込みは
こちらから



共 催：日本気象学会東北支部・仙台管区气象台
後 援：宮城県・仙台市・東北大学・日本気象協会東北支社・
日本気象予報士会東北支部・地球ウォッチャーズー気象友の会ー
問合せ先：日本気象学会東北支部気象講演会担当

Mail：tohoku-kouen@googlegroups.com

講演要旨

講演Ⅰ 気候変動下における極端降雨の変化

講師：平賀 優介（ひらが ゆうすけ）氏
（東北大学大学院 工学研究科
土木工学専攻 助教）



本講演では、気候変動に伴う計画～想定最大規模の極端降雨の変化に関する最新の研究知見を扱う。主な焦点は、

1. 数値気象シミュレーションを用いて過去の極端降雨の将来変化を調べる「イベントベース手法」
2. 長期日本域再解析データから長期傾向を捉える「統計的手法」
3. 大アンサンブル気候データを用いて降雨やその要因現象の発生頻度の将来変化を調べる「確率的手法」

の3点であり、多角的なアプローチによる分析成果を概説する。

講演Ⅱ 大雨災害から身を守るために ～新たな防災気象情報の概要と活用～

講師：阿部 真治（あべ しんじ）氏
（仙台管区気象台 気象防災部 次長）



近年、地球温暖化の影響により大雨災害は激甚化・頻発化しており、東北地方においても毎年のように大雨による被害が発生している。気象庁では、大雨災害から命と暮らしを守るため、様々な防災気象情報を発表しているが、令和8年5月29日からは新たな防災気象情報の運用を開始した。

本講演では、新たな防災気象情報導入の背景や概要、従来の情報との違いを紹介するとともに、防災気象情報の見方や活用方法、大雨時にとるべき行動について解説し、防災・減災に向けた適切な情報活用について考える。

東北大学 理学研究科合同C棟 [H-04] 青葉サイエンスホール
へのアクセス（公共交通機関利用）

地下鉄東西線仙台駅

⇒ 地下鉄東西線（八木山動物公園行き）（9分・片道250円）

⇒ 青葉山駅下車・北出口1

⇒ 北出口1から左手（北）へ約100m

※コンビニが入っている建物

※青葉サイエンスホールはコンビニと同じ階

～付近に一般駐車場はありませんのでご注意ください～

